

平成 28 年 5 月 28 日

さいたま市議会高校生議会

議長 末 永 駿 也 様

提出者 さいたま市議会高校生議会文教委員会

委員長 熊谷 海大

副委員長 大場 琉汰

西川 百合子

青野 千絵

島田 佳奈

平岡 有里紗

島田 真里奈

鈴木 翔太

吉永 もも

金内 英大

松澤 莉香

議案の提出について

下記議案を、さいたま市議会高校生議会実施要領の規定により提出します。

記

委員会提出議案第 2 号

いまでも未来も住みやすいまち さいたま市を目指すための意見書

提 案 内 容

私たちは、市内の高等学校に通学する高校生の視点から、高校生活の多くを過ごす「さいたま市」の将来に向けて、文教委員会の所管事項に関し、以下の項目について提案するものです。

記

- 1 学校内でのいじめ対策として、生徒間において、考え、話し合う場としての組織を設置し、また、学校内部では解決できないものへの対応、当人がすぐに相談できるよう、外部に24時間SOS窓口を設けること。
- 2 個人のモチベーションを尊重し、互いに教えあい、高めながら、一律の基本学習に加え、反転授業等を採用した、習熟度別学習の採用を検討すること。
- 3 熊本地震等、災害が起きた際、高校生個人の活動には限界があるため、さいたま市に住む高校生ができる範囲で被災地支援を行うための被災地支援団体を設置すること。

以上、さいたま市議会高校生議会実施要領の規定により意見書を提出いたします。

平成28年5月28日提出